

(参考様式4)

事業所名 グループホーム 菜の花 いしやま館

目標達成計画

作成日: 令和 7 年 3 月 7日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	3 12 26	<ul style="list-style-type: none">職員の育成に当たり、ご家族へ研修内容の周知に不足がある。認知症ケアにおける知識、支援の向上に課題を残す。	<ul style="list-style-type: none">次回外部評価にて、内部研修の内容が周知できているとの評価を得られる。次回外部評価にて、職員の対応の変化に安心感と満足感があるとの評価を得られる。	<ul style="list-style-type: none">運営推進会議次第へ、実施した内部研修内容記載を行い、会議実施時に内容説明を行うホームで今大切にしている「入居者様への声掛け、対応、ケアは丁寧に行う事」の唱和の継続。理念唱和を行うとともに、業務やケアへの慣れを予防する。認知症、権利擁護等の研修を重ね、不適切なケアなく支援を行えるようにする。	令和7年4月 ～ 令和8年3月
2	2 20 36 37 45	<ul style="list-style-type: none">外出支援の範囲が狭く戸外活動が少ない。地域住民との交流や、地域資源の活用が課題。グループホームとして、地域とのつながりの構築が必要。	<ul style="list-style-type: none">近隣の石山緑地を利用した、季節ごとの外出支援が行える。入居者様希望による外出支援が出来る。グループホームの特色を活かした近隣施設との交流を持つ。地域交流も含め、近隣のコンビニへ買い物支援が出来る。	<ul style="list-style-type: none">実行性のある外出行事の計画と、時期や交通手段等の計画立案。好天時における散歩支援の継続。町内会、近隣住民、施設と連絡、交流を行い、行事参加を促進近隣のコンビニなど、なじみ深い場所での買い物支援を行うと共に、食べたい物等をご本人の意思で購入することで金銭の使用が行えるよう支援。	令和7年4月 ～ 令和8年3月
3	47	<ul style="list-style-type: none">入居者様の詳しい状態の伝達不足が感じられる。	<ul style="list-style-type: none">スタッフが、ご家族様へ、入居者様の継続的に行えている事、出来なくなった、出来なくなってきた事の正確な状態伝達が行える。	<ul style="list-style-type: none">面会時等、ご本人の状態説明を行う。アセスメント、介護計画の作成、評価をチームで行う事で、状態の把握と共有を行う。申し送りの徹底によって、正確な情報の共有をする事で、誰の発信であっても正確な情報を伝達できる状態にする。	令和7年4月 ～ 令和8年3月
4					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。